

もっとおトクに!

積立てながらできる「節税対策」

人生100年時代に向け、長い老後を暮らすための「資産寿命」をどう延ばすかが問題視されています。平均寿命が延びる一方、少子化や非正規雇用の増加で、年金支給額と退職金額の維持が難しいと言われる中、現役期に「計画的に積立てる」ことが求められます。最近では、単に「積立てる」だけでなく、節税効果を期待できる商品が目立っています。上手に活用し、将来に向けてさらなる積立てをしてみませんか?



こんな方にこそ
オススメですよ!



私たちが将来
受取れる年金は少ないって
聞くから老後の生活がとても不安...
でも、今も余裕があるわけじゃないし、
そんなに大きな額を
貯蓄にまわせない。

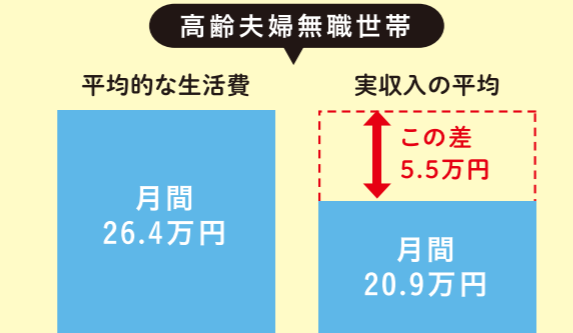
そもそも iDeCo (イデコ) って?

iDeCoは、「公的年金」とあわせて受取することで、老後の生活にゆとりを持たせることができる「私的年金」のひとつです!

積立てたお金は原則60歳まで引き出すことはできませんが、その分厚い税金の優遇制度が設けられています。拠出限度額内で自由に積立てられる、とっておトクな年金制度です。

将来必要な年金を自分で育てる「iDeCo (イデコ)」

将来、あなたが年金で生活を送る時、実際の収入よりも必要な生活費の方が上回る可能性があるってご存知ですか? 贅沢をせず、普通の生活を送れたらよい...と考えている方も、公的年金だけではそれさえも厳しい老後を過ごすことになるかもしれないのです。



「2017年家計調査結果」(総務省統計局)より

安心の
実績

2019年4月現在、
加入者数

約123.4万人!

※国民年金基金連合会実績



老後の生活で子どもに迷惑を掛けたくないで、「iDeCo (イデコ)」で積立てています。年末調整でお金が返ってきたり、住民税などが軽減されたり、節税効果を目に見えて実感できるのでやりがいがありますね。(女性 40代後半)

途中で引出せないことに不安を感じていましたが、考えてみれば公的年金も途中で引出したりできませんよね。「積立て」ではなく「年金」なのだと思えば納得できましたし、節税効果も高いので満足しています。少額からでも始められるので今出来る金額から始めて将来に備えています。(男性 30代後半)



「iDeCoの基本的な情報をもっと知りたい」

「拠出限度額はいくらなの?」

という方には、**「iDeCoスペシャルサイト」**
こちらがオススメ!

スマホの方
はこちらから!



iDeCoを本気でオススメする理由! ①

少額 からOK!

iDeCoは、**月額5,000円** から始めることができます!

もう少し積立てたい場合は、1,000円単位で上乗せできます。掛金額は、1年に1回だけ変更することができるので、家計の状況の変化に合わせて、金額を調整することも可能です。

※お勤め先によって、積立上限金額は異なります。



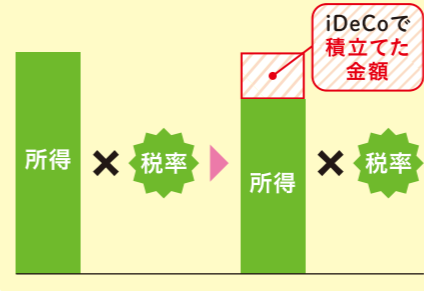
掛金額を決める時は、基本的に60歳にならないと引出せない資産であることを考え、無理なく継続して拠出できる金額を設定することがポイントです!

iDeCoを本気でオススメする理由! ②

うれしい
節税効果!

【iDeCoがおトクなくみ】

iDeCoで積立てた掛金は、所得から差引くことができます。その結果、所得が少なくなり、支払う税金が少なくなるのです!



iDeCoを利用している人の例を見てみましょう!

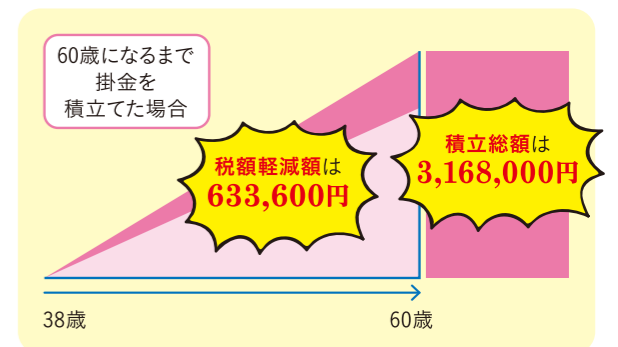
年収は**500万円**。
月々**12,000円**で60歳までiDeCoを続けた場合...



Bさん38歳
妻と子ども2人あり

- 給与所得控除/年 1,540,000円
- 社会保険料控除/年 711,000円※1
- 基礎控除/年 380,000円※2

iDeCo加入による
軽減額



	iDeCo未加入時	iDeCo加入時
課税所得※3	2,369,000円	2,225,000円
所得税額	139,400円	125,000円
住民税額※4	236,900円	222,500円

	1年	22年
所得税軽減額	14,400円	316,800円
住民税軽減額	14,400円※5	316,800円
税制優遇額	28,800円	633,600円

※1 年収の14.22%として計算しています。 ※2 一律380,000円として計算しています。 ※3 課税所得=年収-給与所得控除-社会保険料控除-基礎控除として計算しています。 ※4 一律10%として計算しています。 ※5 住民税は加入の翌年以降軽減されます。 ★あくまでもシミュレーションであり、金額を保証するものではありません。



受取る年金が増えて↑税の負担は軽減↓だから、早くはじめるほどおトクなんです!

「iDeCo」と「つみたてNISA」の併用もオススメです!

投資資金の用途を広げられ、現役世代から老後まで、あらゆるライフイベントに応じた備えをすることができます。

【iDeCoの注意事項】●個人型確定拠出年金は、原則60歳まで引出すことはできません。●個人型確定拠出年金では、加入者の方に必ずご負担いただく手数料(ろうきんに支払う運営管理手数料や、国民年金基金連合会などに支払う手数料)があります。●資産の運用は加入者自身が行い、受取る額は運用成績により変動します。(定期預金など、元本確保型商品もあります) ●企業型確定拠出年金(企業型DC)実施企業では、「マッチング拠出を実施している」「企業型DC規約に個人型DCに加入できる旨が定められていない」場合、個人型確定拠出年金に加入することはできません。●投資信託等のリスク性商品で運用を行う場合、運用結果により受取金額は掛金元本の累計を下回る場合もあります。●今後、法改正・取扱変更等の可能性がありますので、記載の内容・数値等は将来にわたって保証されるものではありません。●個別の税務取扱等につきましては、税務署・税理士等にご確認ください。 ※上記に記載の内容については、2019年7月1日現在のものです。